

# 8月 学校だより

尼崎市立成徳小学校  
令和2年7月31日（金）

## 一学期を振り返って

校長 島多峰史



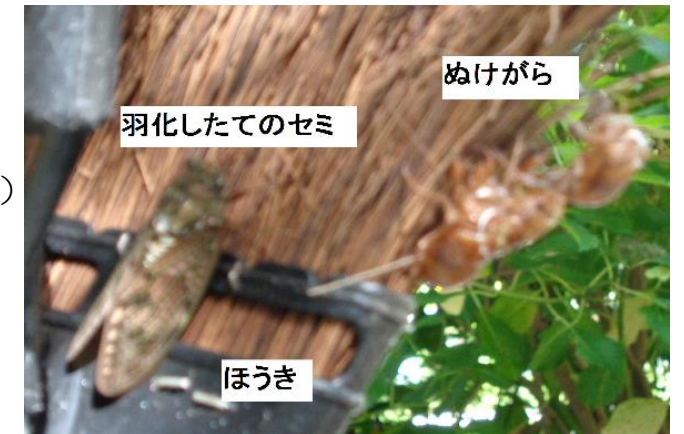
一学期は、昼夜2回に分かれての分散登校から始まりました。午後からの登校児童を正門で迎えていると、時々「おはようございます。あっ、間違えた。こんにちは。」と言いきり子どもが何人かいました。そのとき、「校長先生への挨拶は、午後も『こんにちは。』『おはようございます。』どちらでもいいよ。」という、「えっ。なんで。」と不思議な顔をされたことがありました。挨拶の言葉の種類に関わらず、「先生を見かけたらまず挨拶をしよう。」という心を大切にしたいと思っているからです。

ちなみに、私は中学校で放送部の顧問をしていたことがあり、その時の部員同士の挨拶は放課後であっても、「おはようございます。」でした。また、一時期、学校外でミュージカル劇団の指導を頼まれたときがあり、稽古開始時刻が夜であっても挨拶は「おはようございます。」でした。一般に放送や舞台関係に携わる人々の挨拶が、一日中「おはようございます。」である理由は、歌舞伎の習慣の名残という説や、舞台やスタジオの世界では、午前・午後に関係なく、最初に出会った時が「一日のスタート」と考えられたという説などがあります。

現在は全児童が朝の登校ですので、全員の挨拶が「おはようございます。」です。今年になって、「成徳小学校の子どもは、以前に比べると、よく挨拶をするようになったね。」と地域の方がお褒めの言葉をくださいました。先生方の日頃のご指導もあり、私が正門に立っているとき、子どもの方からこちらの方へ向いて、目を見ながら挨拶する児童が増えたので、とても嬉しく思います。

しかし、今年の困ったことは「長雨」です。朝から雨が降っている日が多く、子どもたち一人一人の目を見ながら朝の挨拶をしようとしても、持っている傘が妨げになって、子どもの目が隠れて見えないことがよくありました。そのような話を、ある先生にしたところ、「傘があると、ソーシャルディスタンスを保つことができるので良い。」と言われました。新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、子どもたちに十分な間隔を保つ必要がありますが、教員がいくら間隔をとるように声かけをしても、子どもたちはすぐにお互いに近づいてしまいます。しかし、傘を持つと、自然に一定の距離を保つことができるので、より安全だということです。雨の日の傘が登下校の際、子どもたちを感染から守るはたらきもあることには全く気がつきませんでした。

この時期の成徳小学校では、雨が降っていない日には、騒がしいぐらいにセミが元気に鳴きます。「朝顔に釣瓶とられて もらい水」は、有名な俳句ですが、子どもたちが朝ピカ（朝の飼育栽培・清掃活動）で使用するほうきが、長期間使われなかったために、代わりにセミが羽化の場所として有効活用してありました。（セミ、ぬけがら、ほうきがすべて似たような色ですので、写真がとてもわかりにくいのですが、それぞれ、どこかおわかりになりますでしょうか。）二学期が始まるまでには新型コロナウイルス感染が終息し、ほうきを本来の使い方で使用できるようになることを願っています。



保護者の皆様におかれましては、一学期間をとおして毎日の検温や健康観察等でたいへんお世話になり、ありがとうございました。毎朝、子どもたちの検温確認を教員が行う必要があるために、本校の大きな特色である朝ピカの活動ができなくなって困っておりました。しかし、代わりに保護者の方々が毎週月曜日に清掃を、有志ボランティアの方々が花壇・菜園等への水やりをしてくださり、本当にありがとうございました。市内では複数の学校関係者による新型コロナ感染が発生しておりますが、夏休みに入っても、引き続きご家庭における子どもたちの健康管理をよろしく願います。

## <8月の行事予定>



月	火	水	木	金
3 個人懇談 (希望制)	4 個人懇談 (希望制予備日)	5	6	7
10 山の日	11 学校閉鎖	12 学校閉鎖	13 学校閉鎖	14 学校閉鎖
17 学校閉鎖	18 2学期 始業式 集団下校	19	20 自然学校 説明会 15:00~	21 修学旅行 説明会 15:00~
24	25 給食開始	26 身体測定 (わ・高)	27 身体測定 (わ・中)	28 身体測定 (わ・低)
31 委員会				

<9月の主な行事> 22日（火）：5年生自然学校

